



長野県教育委員会  
Nagano Prefectural Board of Education



しなの鉄道株式会社  
SHINANO RAILWAY Co.,Ltd.

## 長野県教育委員会としなの鉄道の連携協定について

### 1 連携協定締結の背景

- (1) 現代の子どもたちを取り巻く環境は、社会情勢の変化等とあいまって、刻々と変化しており、子どもたちが成長するうえで必要となる能力・資質を習得する場も学校だけでは限界がある。
- (2) 一方、地域鉄道においては、沿線人口の減少、少子化、自動車利用等により、輸送人員が減少傾向にある中で、子どもたちの鉄道利用機会が少ないことや、マナー面での課題認識を持っている。
- (3) このため、以前と比べて社会との接点が少ない子供たちの社会性を高める上で、また、教育の場としても「鉄道」が有効であるとの認識を共有するに至った。

### 2 連携協定の目的

長野県教育委員会としなの鉄道株式会社が緊密な相互連携と協働による活動を推進することにより、次代を担う子どもたちの育成に寄与する。

### 3 連携事項

- (1) 鉄道を活用した学習の実施に関すること
- (2) 職場体験活動等の実施に関すること
- (3) 乗車マナーの向上や社会性の育成に関すること
- (4) その他両者で合意された事項

### 4 連携の基本コンセプト

鉄道を地域の寺子屋に ～駅舎や列車を学びの場に～

車窓はふるさとの額縁 ～ふるさと再発見・再認識～

### 5 想定される連携事項

- 校外学習における駅、列車の活用
- 高校生等による駅員等の職場体験
- 車内や駅舎に子どもたちの作品等を展示
- 「観光列車ろくもん」を活用した本県の観光を担う人材の育成
- しなの鉄道社員によるマナー教室（出前講座）
- 地域と子どもたちが協働した、駅の美化、清掃等

# 高校生、鉄道の未来像提案

## しなの鉄道と県教委プレゼン大会計画

県教委は本年度、しなの鉄道(上田市)と連携して県の将来を担う若者を育成する事業の第1弾として、高校生が地域鉄道の未来像を考え、発表するプレゼンテーション大会などを開く。財源は全額、ふるさと納税による県への寄付金を活用する。

県教委と同社は昨年11月、高校生に地域社会と関わりながら、主体的に地域の将来を考えたり、地域の歴史を学んだりする機会を持ってもらおうと連携協定を結んだ。プレゼン大会などは協定に基づく事業の一環。開催時期は今後調整する。

しなの鉄道は、路線維持に向けて利用者の確保が課題となっている。高校生には、通学利用者としての視点も含め、地域鉄道の未来像を考えても



らいたいとしている。県教委は発表希望者を公募する。県は22日開会の県会6月定

例会に、関連費用189万円を盛った本年度一般会計補正予算案を提出。このほか、しなの鉄道のイベント列車で高校生が地域の特産品を売ったり、高校生が作成した車内マナーの向上を呼び掛ける動画のコンテストを開いたりする予定だ。